

&lt;報道関係様各位&gt;

作品のクオリティを極限まで追求するドラマー“ドラマW”が挑戦する連続ドラマ

## 連続ドラマW **空飛ぶタイヤ**

**日本民間放送連盟賞番組部門  
テレビドラマ番組で最優秀を受賞！**

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社にて2009年3月29日(日)～4月26日(日)に全5話で放送した連続ドラマW「空飛ぶタイヤ」が、平成21年日本民間放送連盟賞番組部門テレビドラマ番組で最優秀を受賞しました。同賞の受賞は、ドラマW「センセイの鞆」(2003年2月放送)、ドラマW「4TEEN」(2004年7月放送)に続き、3作品目となります。

また、2008年にスタートした連続ドラマシリーズ「連続ドラマW」として最優秀の受賞は初めてとなります。「パンドラ」(2008年4月放送)では、優秀を受賞しております。

本作は、巨大組織の暗部とそれに立ち向かう人々を描いた社会派ヒューマンサスペンスです。大企業の圧力に屈しそうになりながらも、それぞれの立場での責任と正義、信念に基づいて闘おうとする人々を描いています。

今回の受賞を受け、主演の仲村トオルさんが以下の通り、受賞の喜びを語りました。

### 【仲村トオルさんのコメント】

「素晴らしいスタッフ、キャストが集まり」と言うと自分も含まれてしまうので変ですが、皆でプロの仕事ができたという感触が今でも残っています。この作品の原作が現実に起きた話をモチーフにした小説であることを忘れてはいけないと思っていますが、作品が評価されて光栄です。ありがとうございました。

今後もオリジナル番組の制作に力をいれ、視聴者の皆様に上質なエンターテインメントをお届けしていきます。

敬 具

- 番組に関するお問い合わせ先 -

WOWOW 編成局 番組宣伝部 TEL:03-4330-8152 担当/鎌倉

## 【連続ドラマW「空飛ぶタイヤ」概要】

- **出演：**仲村トオル 田辺誠一 萩原聖人 水野美紀 ミムラ 袴田吉彦 柄本佑  
甲本雅裕 相島一之 尾野真千子 遠藤憲一 本上まなみ 西岡徳馬 戸田菜穂  
大杉漣 國村隼 他
- **原作：**池井戸潤「空飛ぶタイヤ」(実業之日本社刊)
- **脚本：**前川洋一
- **監督：**麻生学、鈴木浩介
- **放送日：**2009年3月29日(日)～4月26日(日) 全5話
- **ストーリー：**

ある日、小さな運送会社を経営する赤松(仲村トオル)に事故の連絡が入る。会社のトレーラーのタイヤが外れて母子にぶつかり死傷事故を起こしたというのだ。整備不良が原因と決め付けられ、刑事(遠藤憲一)からの執拗な捜査を受け、一気に信用を失ってしまうが、専務の宮代(大杉漣)や門田(柄本佑)、妻(戸田菜穂)に励まされ、赤松は事故の原因を突き止めるべく巨大組織への戦いを決意する。

赤松からの問い合わせを受けたホープ自動車のカスタマー戦略課長・沢田(田辺誠一)は、社内に、常務の狩野(國村隼)を筆頭に組織された、リコール隠しを検討するための「T会議」という秘密会議が存在することを知る。沢田は同僚の小牧(袴田吉彦)、杉本(尾野真千子)と協力してT会議の情報を掴み、会社の膿を出しきるべく狩野一派の追い落としを企てる。

一方、ホープ自動車のメインバンクであるホープ銀行では、融資担当調査役の井崎(萩原聖人)が、経営努力の足りないホープ自動車への融資判断に頭を悩ませていた。銀行専務の巻田(西岡徳馬)と狩野は旧知の仲であり、婚約者の香織(ミムラ)は狩野の姪でもあるため、言葉にならない圧力を受けていたからだ。そんな井崎に大学時代の友人の榎本(水野美紀)が取材に訪れ、ホープ自動車内で良からぬ噂があることを告げる。訝しがる井崎をよそに、榎本は事故の当事者でもある赤松にも取材を行い、同様の事故が全国各地で起こっていることを伝える。

赤松、沢田、井崎、榎本、狩野。一つの事故をきっかけにそれぞれが動き出すなかで、次第に明かされる企業の闇と真実。巨大組織と中小企業。夢と現実。それぞれの抱く正義。事件は思いがけない結末へと向かって動き出していく…

## 【連続ドラマW 今後の放送予定情報】

「空飛ぶタイヤ」に続き、WOWOWが社会の闇を描く・・・金融界と、政界の闇に迫る衝撃のヒューマンサスペンス。連続ドラマW「**隠蔽指令**」。

10月18日(日)スタート！ 毎週日曜 夜10:00 (全5話) ※第1話無料放送

## 【連続ドラマW「空飛ぶタイヤ」DVD情報】

- レンタル開始：10月7日(水)
- DVD-BOX発売：10月23日(金)
- 発売元：ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

- 番組に関するお問い合わせ先 -

WOWOW 編成局 番組宣伝部 TEL:03-4330-8152 担当/鎌倉